

内閣府
特命担当大臣表彰
優良賞

島根県推薦

なにわー水

(島根県松江市)

【概要】

- 障害のある人や高齢者が家族と一緒に旅行に出かけ、家族全員で旅行の楽しみを共有できる環境づくりが必要と考え、ユニバーサルツーリズムと福祉介護が共存し、すべての人に非日常を楽しんでもらえる旅館を目指し、施設改修やサービスの充実に取り組んでいる。施設の概要：5階建、客室全25室
- 障害者のサポート方法や施設整備について、障害者の社会参画支援を行っているNPO法人プロジェクトゆうあい（バリアフリーマップの製作、宿泊施設へのバリアフリー研修等の実施について、平成20年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者内閣府特命担当大臣表彰（奨励賞）を受賞）から意見を得ながら施設及び心のバリアフリー化を進めている。

【特に顕著な功績・功労】

1. 社員がサービス介助士等の資格を自発的に取得しスキルアップできる社内環境を作っている。
2. 利用者アンケートの内容を社員全員が共有し、社員一人ひとりが利用者のサポート方法を考え、より利用者の意に沿った対応に取り組んでいる。
3. 車椅子利用者を中心としたものが多いが、視覚障害者や聴覚障害者への配慮もあり、その配慮方法に工夫がみられる。

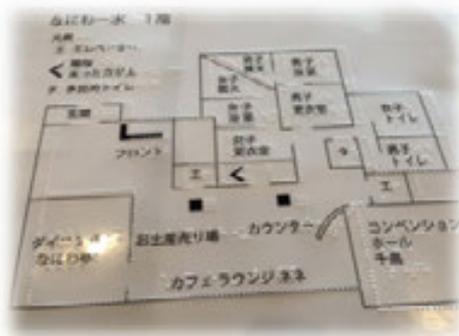
- ① 筆談ボードの配置
- ② 専用PHSの配置（呼び出し、緊急連絡用）
- ③ 音声情報機器の配置



- ④ 点字ボードの配置、配布
- ⑤ 障害のあるお客に対応した「避難マニュアル」の作成、避難訓練の実施



筆談ボード



館内案内用展示ボード

- ⑥ 障害者、高齢者やアレルギー体質者に配慮した食事の提供
- ⑦ 車椅子利用者の利便性を考慮した設計（トイレ、洗面所、風呂場、廊下）
- ⑧ 送迎用にリフト付きバスを導入



バリアフリー仕様トイレ
(客室)



シャワーブース（客室）



リフト付きバス

4. 「あいサポート」運動の精神をよく理解し積極的に利用し、従業員の研修を積極的に推奨している。旅館業は一般に設備等のハード面の改良によってバリアフリーを強調することが多いが、コミュニケーション等のソフト面をよく研究されており、情報バリアフリーを積極的に取り入れている。



全職員対象のあいサポート研修

5. 高齢の従業員への配慮も工夫しており、働きやすい環境を整備している。

以上のように、宿泊施設のバリアフリー・ユニバーサルデザイン対策としては突出しており、他の模範として多くの宿泊施設の目指すものと考えられるとともに、今後の事業展開に大いに期待できる。